

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		1月のピーク(%)			主産地
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)				
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.8 (100)	526 (99)	367 (99)	33	33	33	前橋市 富岡市
ストック	千葉	施設		11~4月 (2~3月)	40 100%	2400 100%	1400 100%	40	40	20	館山市、南房 総市、鴨川市
アルストロメリア	山形	周年	アバランジェ ホイトニー ピンクティアラ レベッカ サンマリノ ヒラド	周年 (11~翌2月)	8.1 (95%)	300 (99%)	150 (99%)	30	35	35	JA山形おきたま JA鶴岡 JA庄内みどり

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	群馬	<p>一部の産地ではやや細い傾向が見られるが、全体としては気温の低下により品質は良好となっている。炭酸ガス施用や加湿といった環境制御にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>1月は平年並みの出荷を見込む。</p>	<p>現状 前半は気温も高く入荷量が多く、販売は厳しい状況であった。中旬より急激な気温低下に伴い激減、相場は堅調となった。クリスマス向けの赤も例年よりも高単価で推移した。年末に向けても入荷少ない。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 山形・大分等で休眠に入る産地あり。入荷量は今後の天候次第ではあるが、昨年並みから減少となる。月末の愛妻の日に向け、赤・濃いピンク系の引き合いが強まる。</p> <p>FAJ 4日初市からより7日月曜日市から出荷はまとまる見込み。初市は近郊産地のみ。</p>
ストック	千葉	<p>生育はほぼ平年並。品種はアイアン、カルテットが中心。</p>	<p>現状 上旬は、山形、千葉ともに気温の上昇で数量が昨年対比120%を超える出荷となり大きく前進、厳しい販売となった。中旬以降、寒くなり出回り量が減少、価格も徐々に回復傾向となった。下旬の販売では出回り量が不足し活発な取引となった。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 千葉中心の入荷となる。天候次第だが安定出荷が見込まれる。需要面では、大きな需要なく落ち着いた動きになる。</p> <p>FAJ 千葉主体の入荷。出荷数量は前年並みを予定。相場は葬儀需要次第。</p>
アルストロメリア	山形	<p>○ 最低温度を13～18℃で積極加温が行われており、順調である。</p> <p>○ 病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。</p>	<p>現状 主産地の愛知、長野は徐々に数量が増加。引き合いは鈍く、安値での相場展開。作付けの少ない赤は引き合いも強く、高値での販売となった。</p> <p>大田花き 愛知、長野中心に各色潤沢な入荷となる。気温次第のところはあるが、各等級数量がまとまってくる。</p> <p>FAJ 山形・長野より安定出荷の予定。数量は平年なみの見込み。</p>